

標準委員会 システム安全専門部会 炉心燃料分科会  
第6回 (S1SC6) 議事録

日 時： 2011年1月31日(月) 13:30~16:40

場 所： 東京都 東京大学工学部 8号館 502 会議室

出席者： 阿部(弘)主査、馬場副主査、矢野幹事、  
巻上 BWR 幹事、真寄代理(西川 PWR 幹事)、有田委員、岩本委員、加藤委員、  
河村委員、北島委員、黒崎委員、杉山委員、関委員、玉置委員、土内委員)、長  
谷川委員、久持委員、福山委員、森下委員、山本委員 計 20 名

常時参加者： 谷口代理(小野)、平川、北嶋、高野、溝上、久保

(敬称略)

配布資料：

- S1SC6-1 第5回分科会議事録(案)
- S1SC6-2 人事について(案)
- S1SC6-3-1 LUA 標準の概要について
- S1SC6-3-2 LUA の装荷体数と炉心健全性への影響について
- S1SC6-3-3 LUA 導入スキームの確認及び対応する標準の文書構成の整理
- 添付-1 規格標記案(事前の安全評価部分)
- 添付-2 評価項目及び損傷モードの説明
- S1SC6-4 システム安全専門部会における標準策定スケジュール

参考資料

- 参考1 「原子力発電所における小数体先行使用燃料の導入に係る実施基準:200X(仮称)」の骨子案について
- 参考2 燃料健全性の観点からの水化学管理に対する要求事項について
- 参考3 炉心燃料分科会 活動スケジュール案
- 参考4 日本原子力学会 2011 春の年会 企画セッション予稿

## 議事及び主な質疑応答

### 1 出席者確認

幹事より出席者数が確認され、本分科会の定足数を満たすことが報告された。

### 2 資料確認

幹事より議事次第に基づき、配布資料の確認が行われた。

### 3 前回議事録(案)の確認について (S1SC6-1)

幹事より、第5回議事録(案)について報告され、承認された。

### 4 人事について

幹事より資料 6-2 に基づき、以下の委員及び常時参加者の交代が報告され、承認された。

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| ①退任委員       | 西川 進也           |
| ②新任委員       | 真寄 康行           |
| ③解除 (常時参加者) | 大平 幸一           |
| ④登録 (常時参加者) | 溝上 伸也<br>久保 雄一郎 |

### 5 LUA 標準案の検討

#### (1) LUA 標準の作成方針と標準案について (S1SC6-3-1～6-3-3)

資料 S1SC6-3-1～6-3-3 に基づき、LUA 標準の作成方針としての概要と装荷体数と炉心健全性への影響及びそれらに基づき部分的に作成を試みた標準案について、議論が行われた。

LUA 標準の概要について、資料 (S1SC6-3-1) に基づく確認がなされ、標準の適用対象、その必要性及び関連法令との関係について確認された。

LUA の装荷体数、炉心健全性への影響について、資料 (S1SC6-3-1) に基づいて議論が行われ、装荷体数や装荷位置についての記載方針が確認された。さらに LUA 導入スキームの確認及び対応する標準の文書校正の整理について、資料 (S1SC6-3-3) についても確認された。要点は以下の通り。

- ・本標準の当面の対象には濃縮度 5%超燃料や MOX 燃料は対象とせず、将来、LUA が必要になった場合には適宜、対象として追加の検討を行う。
- ・装荷体数については、安全面や炉心運用上の最小単位、データ採取上の必要性などの観点で、考え方を整理、記載する。装荷位置については、装荷位置によっては評価を省略できる可能性があるものの、そういったことをする場合、個別の審査で判断基準と併せて妥当性を示す必要があるとなった。
- ・中間検査の取扱はあくまでも本格導入のためのデータ採取であり、次サイクル装荷

の是非のためのものではないとした。ただし、不確定な事象の幅を徐々に減少させるという目的での中間検査に基づく1サイクル毎の照射継続についての許認可の可能性について議論があった。

上記を踏まえ、関連資料を適正に見直すこととなった。

## 5 その他

システム安全専門部会における標準策定スケジュール (S1SC6-4)、燃料健全性の観点からの水化学管理に対する要求事項 (参考 2) について、報告された。

また、日本原子力学会 2011 春の年会において本分科会の活動が企画セッションで穂報告される予定であり、その内容が説明され了承された (参考 4)。

以 上